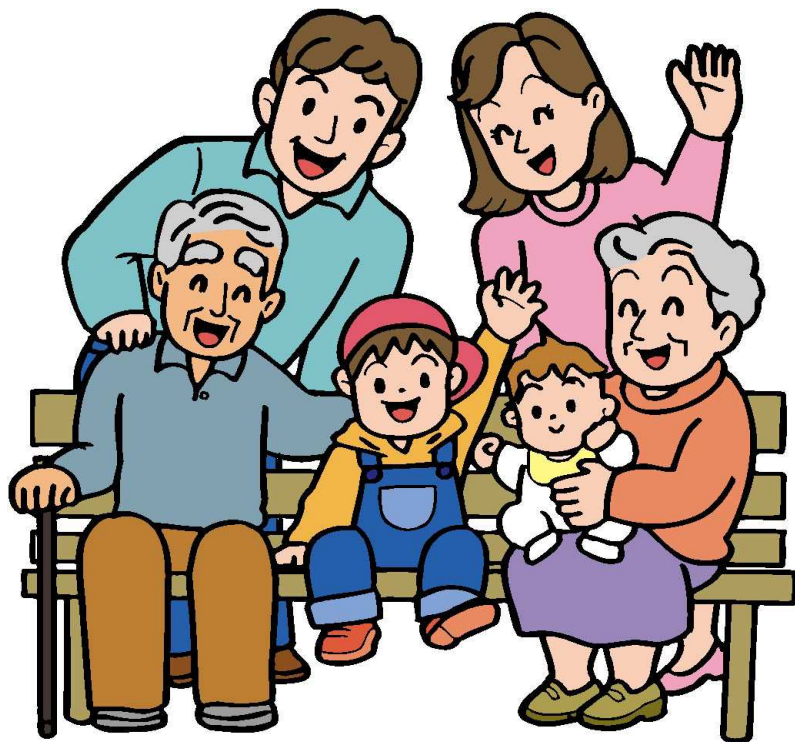


平成31年度予算概要

「安全・安心」「魅力」「健康」

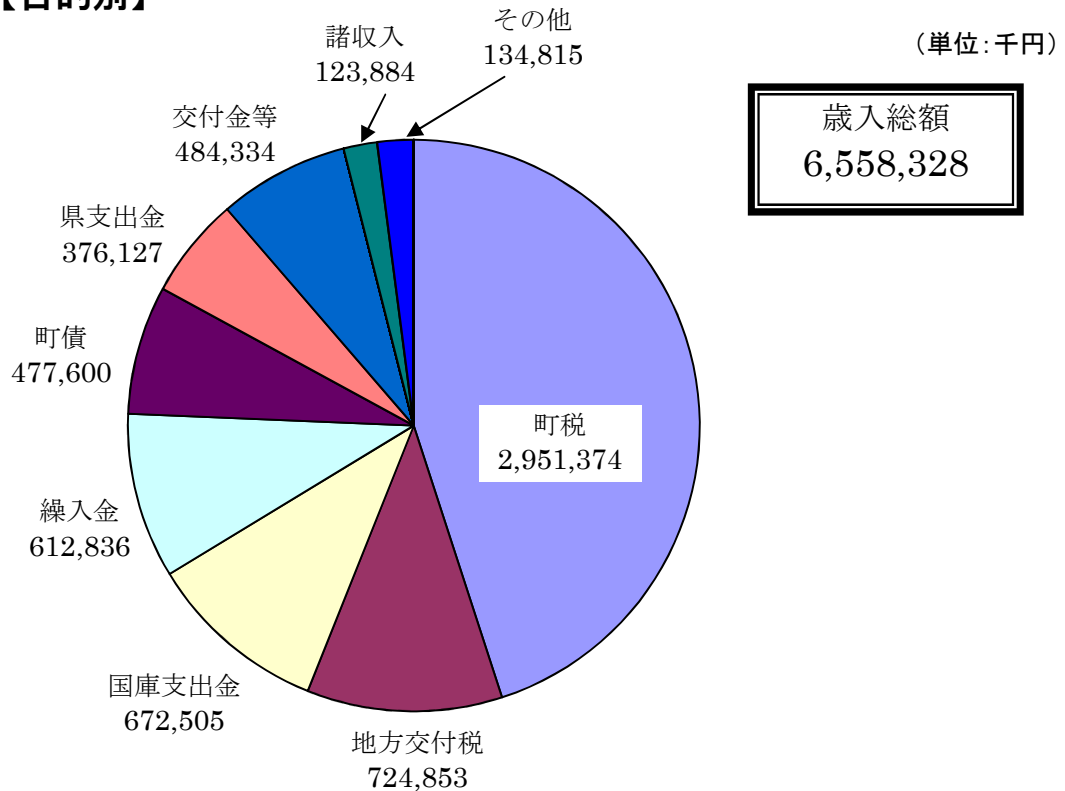


酒々井町

平成31年度の一般会計予算

平成31年度の一般会計の歳入歳出の予算を円グラフと表で現し、平成30年度の当初予算額との比較をしています。歳出は、目的別（表2：使用する目的別）と性質別（表3：使用する性質別）の2表で比較しました。

1. 歳入【目的別】



平成31年度一般会計予算歳入（表1）の主な内容については、次のとおりです。

歳入総額は、65億5,832万8千円となり、対前年度比1億4,778万3千円、2.3%の増加となりました。

町税については、総所得分の増等による個人町民税の増加、法人税割の増による法人町民税の増加に加え、アウトレット第3期開業に伴う固定資産税の増加により、対前年度比1億4,858万9千円、5.3%増の29億5,137万4千円を見込みました。

地方譲与税及び各種交付金については、自動車取得税交付金、自動車重量譲与税、地方消費税交付金の減少を見込んだことから、交付金等全体で対前年度比196万円、0.4%減の4億8,433万4千円となりました。

地方交付税については、町税をはじめとする自主財源の増加による影響により、普通交付税の減少を見込み、対前年度比1,634万7千円、2.2%減の7億2,485万3千円となりました。

国庫支出金については、児童福祉費負担金や障害者の社会福祉費負担金、地方創生推進交付金の増加により、対前年度比987万7千円、1.5%増の6億7,250万5千円となりました。

県支出金については、農業基盤整備促進事業補助金や児童福祉費負担金の減少により、対前年度比1,519万3千円、3.9%減の3億7,612万7千円となりました。

繰入金については、財政調整基金からの繰入が減少したものの、社会資本等整備基金繰入

金や地域福祉基金繰入金、東日本大震災復興基金繰入金からの繰入が増加したため、対前年度比6,299万7千円、11.5%増の6億1,283万6千円となりました。

繰越金は前年度の歳計剰余金（前年度会計で余った資金）を前年度と同様に6,000万円程度と見込み、繰越金を3,000万円としています。〔歳計剰余金の2分の1以上は、財政調整基金に積み立てることとなっています。〕

町債については、防災対策事業、農業基盤整備促進事業や上水道出資債、地方道整備事業の減少により、対前年度比900万円、1.8%減の4億7,760万円となりました。

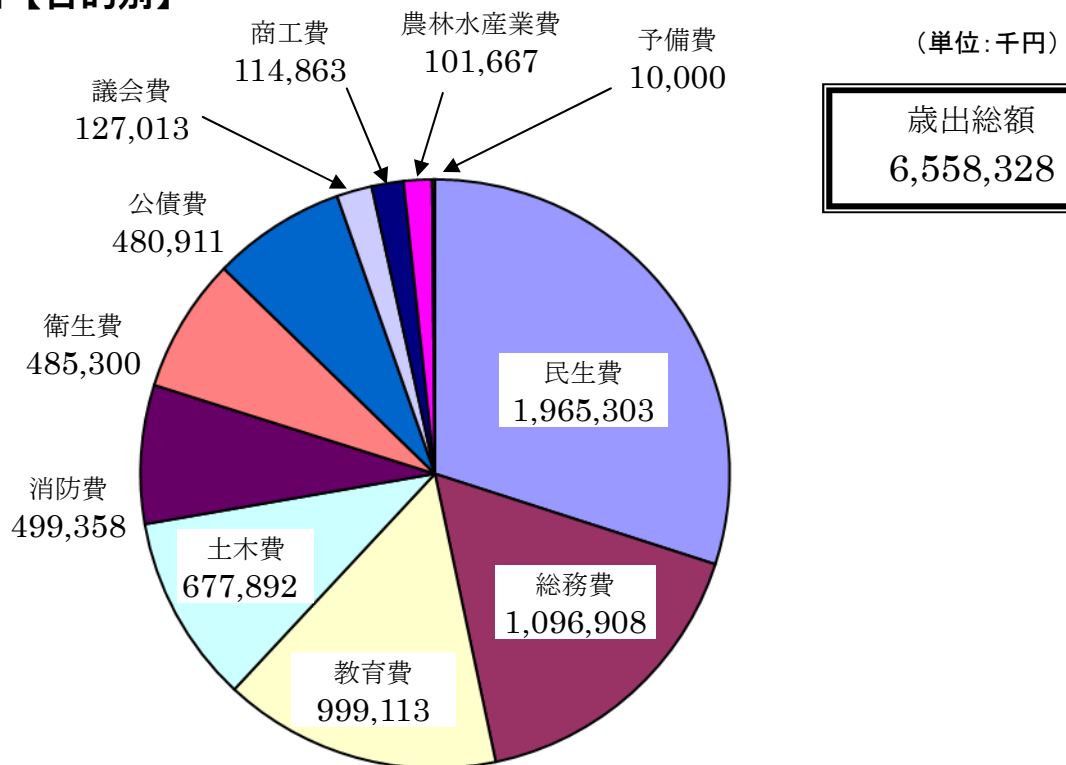
なお、地方消費税の税率引き上げの増収分は、全額社会保障費の財源に充当することになっています。

表1 平成31年度一般会計 歳入（目的別）

（単位：千円、%）

款	平成31年度 当初予算額	構成比	平成30年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 町 税	2,951,374	45.0	2,802,785	43.7	148,589	5.3
2 地 方 譲 与 税	57,007	0.9	64,800	1.0	△ 7,793	△ 12.0
3 利 子 割 交 付 金	4,200	0.1	3,300	0.1	900	27.3
4 配 当 割 交 付 金	15,200	0.2	11,600	0.2	3,600	31.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	17,400	0.3	7,400	0.1	10,000	135.1
6 地 方 消 費 税 交 付 金	356,600	5.4	359,400	5.6	△ 2,800	△ 0.8
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	20,000	0.3	24,900	0.4	△ 4,900	△ 19.7
8 地 方 特 例 交 付 金	11,200	0.2	12,000	0.2	△ 800	△ 6.7
9 地 方 交 付 税	724,853	11.1	741,200	11.6	△ 16,347	△ 2.2
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	2,727	0.0	2,894	0.0	△ 167	△ 5.8
11 分 担 金 及 び 負 担 金	41,672	0.6	67,888	1.0	△ 26,216	△ 38.6
12 使 用 料 及 び 手 数 料	42,794	0.6	45,450	0.7	△ 2,656	△ 5.8
13 国 庫 支 出 金	672,505	10.3	662,628	10.3	9,877	1.5
14 県 支 出 金	376,127	5.7	391,320	6.1	△ 15,193	△ 3.9
15 財 産 収 入	7,347	0.1	6,918	0.1	429	6.2
16 寄 付 金	13,002	0.2	12,002	0.2	1,000	8.3
17 繰 入 金	612,836	9.3	549,839	8.6	62,997	11.5
18 繰 越 金	30,000	0.5	30,000	0.5	0	0.0
19 諸 収 入	123,884	1.9	127,621	2.0	△ 3,737	△ 2.9
20 町 債	477,600	7.3	486,600	7.6	△ 9,000	△ 1.8
合 計	6,558,328	100.0	6,410,545	100.0	147,783	2.3

2. 歳出【目的別】



平成31年度一般会計予算歳出(表2)の主な内容については、次のとおりです。

歳出の総額は、歳入と同額の65億5,832万8千円となり、対前年度比1億4,778万3千円、2.3%の増加となりました。

議会費は、インターネット議会中継システム業務委託等の増加により、対前年度比169万7千円、1.4%増の1億2,701万3千円となりました。

総務費については、地方創生推進交付金事業(130周年記念事業等)3,575万円、戸籍住民基本台帳一般事務費1,105万1千円、賦課徴収事業1,070万8千円、企画一般事務費685万6千円、退職者の増に伴う退職手当組合負担金の増加などによる人件費9,151万9千円などが増加したことにより、対前年比1億1,318万9千円、11.5%増の10億9,690万8千円となりました。

民生費については、交流拠点施設建築工事等により老人福祉事業2,696万6千円、障害者総合支援事業1,268万1千円、社会福祉一般事務費1,040万円、地区集会所等補助事業1,000万円、後期高齢者医療事業995万6千円の増加などにより、対前年度比4,903万6千円、2.6%増の19億6,530万3千円となりました。

衛生費については、じん芥処理事業1,656万8千円、印旛広域水道事業703万7千円、子ども医療費助成事業505万1千円、予防接種事業241万1千円の減少などにより、対前年度比2,333万9千円、4.6%減の4億8,530万円となりました。

農林水産業費については、農業基盤整備事業6,083万7千円の減少などにより、対前年度比5,632万2千円、35.6%減の1億166万7千円となりました。

商工費については、(仮称)まるごとしすい運営事業1,713万5千円、酒々井スマートシティ推進事業(観光アプリデータ整備)550万円、酒々井町IT活用・販路開拓等支援事業200万円、観光事業162万5千円の増加などにより、対前年度比1,894万2

千円、19.7%増の1億1,486万3千円となりました。

土木費については、国の補助事業として社会資本整備総合交付金を活用した道路改良事業3,826万2千円、交通安全施設整備2,930万円、下水道事業への繰出経費2,847万1千円、河川一般事務費1,740万円の減少などにより、対前年度比4,522万1千円、6.3%減の6億7,789万2千円となりました。

消防費については、消防施設事業319万7千円が減少となったものの、消防組合負担金1,405万2千円の増加などにより、対前年度比1,168万7千円、2.4%増の4億9,935万8千円となりました。

教育費については、中央公民館施設整備（空調・高圧受電キュービクル更新）工事等により公民館管理事業4,137万1千円、酒々井の伝説ものづくり事業1,319万9千円、給食センター施設改修工事等により給食センター管理事業764万3千円、町内埋蔵文化財調査事業584万8千円、教育ファシリテーターの配置事業552万1千円の増加などにより、対前年度比6,932万7千円、7.5%増の9億9,911万3千円となりました。

公債費については、臨時財政対策債の償還額の増加などから、対前年度比1,878万7千円、4.1%増の4億8,091万1千円となりました。

表2 平成31年度一般会計 歳出（目的別）

（単位：千円、%）

款	平成31年度 当初予算額	構成比	平成30年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 議会費	127,013	1.9	125,316	2.0	1,697	1.4
2 総務費	1,096,908	16.7	983,719	15.3	113,189	11.5
3 民生費	1,965,303	30.0	1,916,267	29.9	49,036	2.6
4 衛生費	485,300	7.4	508,639	7.9	△ 23,339	△ 4.6
5 農林水産業費	101,667	1.6	157,989	2.5	△ 56,322	△ 35.6
6 商工費	114,863	1.8	95,921	1.5	18,942	19.7
7 土木費	677,892	10.3	723,113	11.3	△ 45,221	△ 6.3
8 消防費	499,358	7.6	487,671	7.6	11,687	2.4
9 教育費	999,113	15.2	929,786	14.5	69,327	7.5
10 公債費	480,911	7.3	462,124	7.2	18,787	4.1
11 予備費	10,000	0.2	20,000	0.3	△ 10,000	△ 50.0
合計	6,558,328	100.0	6,410,545	100.0	147,783	2.3

表3 平成31年度一般会計 歳出（性質別）

（単位：千円、％）

項目	平成31年度 当初予算額	構成比	平成30年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率	
1 人件費	1,654,301	25.2	1,531,316	23.9	122,985	8.0	
2 扶助費	888,044	13.5	890,851	13.9	△ 2,807	△ 0.3	
3 公債費	480,911	7.3	462,124	7.2	18,787	4.1	
義務的経費小計	3,023,256	46.0	2,884,291	45.0	138,965	4.8	
4 物件費	1,256,082	19.2	1,198,408	18.7	57,674	4.8	
5 維持補修費	14,020	0.2	26,919	0.4	△ 12,899	△ 47.9	
6 補助費等	1,001,456	15.3	992,118	15.5	9,338	0.9	
経常的経費小計	5,294,814	80.7	5,101,736	79.6	193,078	3.8	
7 普通建設事業費	636,791	9.7	650,895	10.1	△ 14,104	△ 2.2	
内訳	補助事業費	310,409	4.7	379,907	5.9	△ 69,498	△ 18.3
	単独事業費	326,382	5.0	270,988	4.2	55,394	20.4
8 積立金	24,301	0.4	42,065	0.7	△ 17,764	△ 42.2	
9 投資及び出資金	5,648	0.1	17,975	0.3	△ 12,327	△ 68.6	
10 貸付金	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0	
11 繰出金	583,774	8.9	574,874	9.0	8,900	1.5	
12 予備費	10,000	0.2	20,000	0.3	△ 10,000	△ 50.0	
合計	6,558,328	100.0	6,410,545	100.0	147,783	2.3	

性質別歳出（表3）を見ると、義務的経費のうち扶助費全体では減少しているものの、介護給付費・訓練等給付費、障害児給付費、高齢者外出支援タクシー事業などの扶助費は増加、退職手当組合負担金や嘱託員報酬の増加などによる人件費の増加、さらに、公債費は、臨時財政対策債をはじめ元金償還が増加したことなどから義務的経費は、対前年度比1億3,896万5千円、4.8%増の30億2,325万6千円となりました。

物件費については、各種業務委託料の増加により、対前年度比5,767万4千円、4.8%増の12億5,608万2千円となりました。

補助費等は、酒々井のまつりを継続・伝承させる人づくり補助金（町制施行130周年記念事業）、消防組合負担金、町社会福祉協議会事業補助金、印旛広域水道負担金の増加により、対前年度比933万8千円、0.9%増の10億145万6千円となりました。

普通建設事業費については、中央公民館施設整備（空調・高圧受電キュービクル更新）工事、JR酒々井駅自転車等駐車場整備事業（JR東口側）、JR酒々井駅西口・京成酒々井駅東口バス停上屋設置工事等が増加したものの、防災資機材等備蓄施設整備工事や社会資本整備総合交付金を活用した道路事業、農業基盤整備事業（高崎川改修）等が減少したことにより、対前年度比1,410万4千円、2.2%減の6億3,679万1千円となりました。

積立金については、農業基盤整備事業基金の減少により、対前年度比1,776万4千円、42.2%減の2,430万1千円となりました。

繰出金については、後期高齢者医療事業、介護保険事業への繰出金の増加から対前年度比890万円、1.5%増の5億8,377万4千円となりました。

II 各特別会計

各特別会計の予算状況は次のとおりです。特に介護保険特別会計は、高齢化に伴い保険給付費の増により増加してきています。

(単位:千円、%)

特別会計名	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	比較増減	伸率
国民健康保険特別会計	2,318,358	2,422,326	△ 103,968	△ 4.3
介護保険特別会計	1,345,340	1,303,692	41,648	3.2
後期高齢者医療特別会計	264,799	258,110	6,689	2.6
計	3,928,497	3,984,128	△ 55,631	△ 1.4

III 水道事業会計

水道事業会計は次のとおりです。独立採算制で経営されており、経営努力により経費の削減を図っていますが、今後施設等の老朽化から資本的支出の増加が見込まれます。

(単位:千円、%)

企業会計収支	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	比較増減	伸率
水道事業収益	579,373	568,203	11,170	2.0
営業収益	511,079	496,187	14,892	3.0
営業外収益	68,294	72,016	△ 3,722	△ 5.2
水道事業費用	420,257	402,669	17,588	4.4
営業費用	387,324	367,478	19,846	5.4
営業外費用	30,933	33,191	△ 2,258	△ 6.8
予備費	2,000	2,000	0	0.0
資本的収入	189,930	255,608	△ 65,678	△ 25.7
企業債	184,000	251,200	△ 67,200	△ 26.8
分担金及び負担金	5,930	4,408	1,522	34.5
資本的支出	828,772	1,010,092	△ 181,320	△ 18.0
建設改良費	704,430	890,708	△ 186,278	△ 20.9
企業債償還金	122,342	117,384	4,958	4.2
予備費	2,000	2,000	0	0.0

IV 下水道事業会計

下水道事業は、平成26年度から地方公営企業法の一部（財務規定）を適用し、企業会計方式の会計に変更されました。

（単位：千円、％）

企業会計収支	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	比較増減	伸率
下水道事業収益	385,882	380,649	5,233	1.4
営業収益	334,799	326,560	8,239	2.5
営業外収益	51,083	54,089	△ 3,006	△ 5.6
下水道事業費用	442,390	429,746	12,644	2.9
営業費用	417,789	402,047	15,742	3.9
営業外費用	23,601	26,699	△ 3,098	△ 11.6
予備費	1,000	1,000	0	0.0
資本的収入	134,673	172,017	△ 37,344	△ 21.7
企業債	46,200	49,300	△ 3,100	△ 6.3
国庫補助金	21,300	30,500	△ 9,200	△ 30.2
他会計補助金	66,850	92,127	△ 25,277	△ 27.4
負担金等	323	90	233	258.9
資本的支出	230,632	268,479	△ 37,847	△ 14.1
建設改良費	151,068	184,847	△ 33,779	△ 18.3
企業債償還金	78,562	82,630	△ 4,068	△ 4.9
その他資本的支出	2	2	0	0.0
予備費	1,000	1,000	0	0.0

V 町のローン残高（地方債の状況）

町債は、主に道路や施設等を整備するために町が借り入れるお金ですが、近年、地方交付税で補われる地方の財源不足を、国の財源不足から町が国の代わりに借金する「臨時財政対策債」の借入金残高が増加しています。

（単位：千円）

会計名	平成30年度末見込額	平成31年度中の増減	平成31年度末見込額
一般会計	5,247,960	22,513	5,270,473
水道事業会計	596,273	61,658	657,931
下水道事業会計	698,392	△ 78,562	619,830
計	6,542,625	5,609	6,548,234

VI 町の貯金残高（基金残高）

基金は、町が予算を編成する際の財源補てんや特定の目的のために積み立てている貯金です。個人で例えると財形貯蓄、住宅積立金、学資積立金などに当たり、後年度の資金需要や財源不足に備えるためのものです。

【一般会計】

（単位：千円）

基金名称	平成30年度末 見込額	平成31年度中 増減見込額	平成31年度末 見込額
1. 財政調整基金	772,900	△521,743	251,157
2. 減債基金	90,670	28	90,698
3. 都市開発基金	34,001	12	34,013
4. 地域福祉基金	132,681	△14,304	118,377
5. 児童・生徒国際交流振興基金	30,863	△6,635	24,228
6. ちびっこ天国基金	178,799	△935	177,864
7. 農業基盤整備事業基金	226,064	68	226,132
8. 東日本大震災復興基金	6,229	△6,198	31
9. 社会資本等整備基金	100,223	△50,646	49,577
10. ふるさと基金	23,830	13,000	36,830
11. 土地開発基金	49,984	1	49,985
12. 都市計画事業基金	38,722	12	38,734
13. 森林環境譲与税基金	0	808	808
計	1,684,966	△586,532	1,098,434

【国民健康保険特別会計】

（単位：千円）

基金名称	平成30年度末 見込額	平成31年度中 増減見込額	平成31年度末 見込額
1. 財政調整基金	382,851	△43,433	339,418
2. 高額療養費貸付基金	3,000	0	3,000
計	385,851	△43,433	342,418

【介護保険特別会計】

（単位：千円）

基金名称	平成30年度末 見込額	平成31年度中 増減見込額	平成31年度末 見込額
1. 介護給付費準備基金	218,834	△52,617	166,217

【下水道事業会計】

（単位：千円）

基金名称	平成30年度末 見込額	平成31年度中 増減見込額	平成31年度末 見込額
1. 下水道事業基金	86,640	△100	86,540

※平成30年度末見込額は、平成31年度予算編成時点での見込額となりますので、実際の基金額とは異なる場合があります。

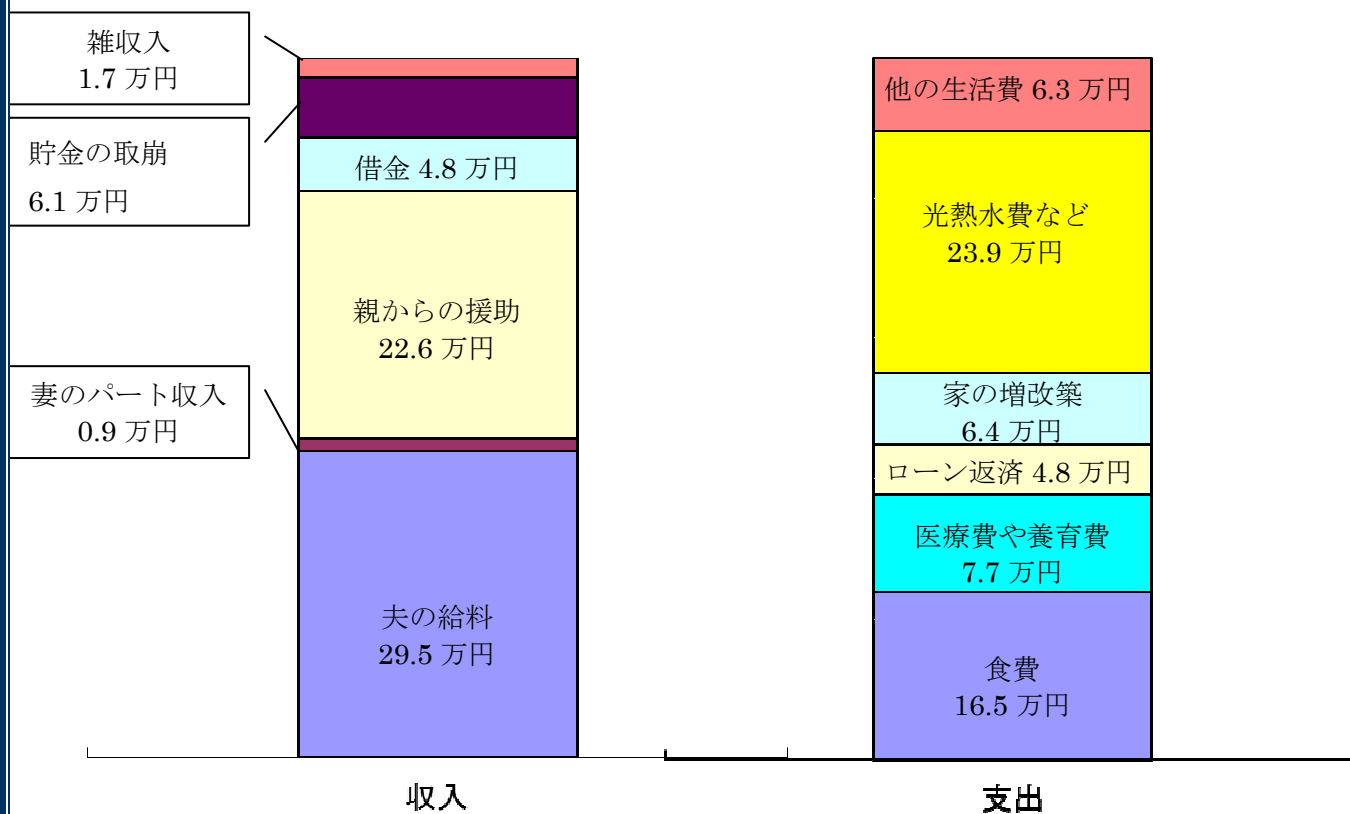
VII 平成31年度の酒々井さん家の家計

平成31年度一般会計の予算案について、1億円を1万円に置き換えてひと月の家計のやりくりに例えてみました。(1か月の家計65.6万円)

酒々井さんの月収(町税収入)は29万5千円で、昨年度から1万5千円の給料アップとなりそうです。そして、奥さんのパート収入(施設使用料、手数料など)は9千円で2千円減り、親からの援助(交付税、国・県補助金など)は22万6千円で、昨年度から2千円減ることになりそうです。不足分は、貯金の取り崩し(基金繰入金など)、さらに借金(町債)をして家計をやりくりしています。

一方、支出において、食費(給料、報酬などの人件費)は昨年度から1万2千円、光熱水費などは1万8千円増え、医療費や養育費(医療費助成や児童手当などの扶助費)は1万2千円、家の老朽化による増改築費(道路などの建設改良費)は1千円減るものの、家計のやりくりは昨年同様大変になりそうです。

過去の借金(町債残高)は56万7千円から1千円減って56万6千円になる見込みですが、ローンの返済額は昨年から2千円増え4万8千円の返済になる見込みです。



VIII 平成31年度の国から町への財源補てん（親からの援助）

すべての地方団体が一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障するため、地方の固有財源として地方交付税が配分されています。しかしながら、国の三位一体の改革などによって地方交付税の一部が「臨時財政対策債」による借入金に振り替えられています。

平成31年度の国からの財源補てんについて、地方交付税と臨時財政対策債への振替などにより、9億9,500万円を見込んでいます。

町税などの自主財源が増加傾向にあることから、国からの補てん額の総額は減少傾向にあります。

国からの財源補てんの推移

単位：百万円

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
普通交付税	897	1,005	998	957	819	835	762	713	671	655
特別交付税	124	150	167	143	152	163	132	108	70	70
臨時財政対策債	427	390	389	390	315	298	254	275	278	270
計	1,448	1,545	1,554	1,490	1,286	1,296	1,148	1,096	1,019	995

※ 平成21年度から平成29年度までは決算額で、平成30年度は決算見込額、平成31年度は予算額です。